

順造選便り

お伝えしたいこといっぱい…の気持ちをこめて。



十月のお便り

やっとな夏が終わり、秋がやってきた！
年を重ねることに秋と春が待ち遠しく
なつてきます。
何とかこの便りも三月号にたどり着きま
した。
オリンピックも女子選手が頑張る、
男子は元気がないなあ！という感じを
持ちましたが、どうなんでしょう？
フレンチ、イタリアン、アンレストラに
行きましても女性ばかりですよ。
ランチなどは中高年女性の多いこと
驚くばかり！
男性は減多に見かけません。老いも若きも
女性は元気で男性はどことなく…。
「女性元氣＝平和な時代」
だけでも外では暗雲が押し寄せてきて
います。



順造さんの旅日記

岐阜県東白川村に 行って来ました！

この辺りから順造選純トマトジュースの原料を
集めてもっています。大阪から車で丁度四時間
山間にきれいな川が流れ、その川沿いにある小
な村です。白川茶と呼ばれるお茶の産地で、川に
つながる山間は写真のように茶畑が広がって
います。美味しいお茶ですね。

走る前の トマトジュース 一杯で疲れ軽減！

「トマトジュース一杯で疲れ軽減！」
の記事が読売新聞(八月十二日)に出
てましたね。「運動前や運動の途中で
トマトジュースを飲むと、運動後の
疲労を軽減する効果が期待できると。
トマトの需要が今春から急増し、原料
手当てが難しく困っています。国産原料
ではそれ程の量はありませんが、大手
は外国から輸入しているのかな？
瓶入りのジュースと缶詰の味と比べると
味に格段の差があります。」



順造選 トマトジュース
500ml/¥525
www.junzosen.com/



昔懐かしのジヤズ エディ・ヒギンズ

休みの日にエディ・ヒギンズ(EDDY HIGGINS)を久しぶりに
聴きたくなって、写真集(BEWITCHED)という
CDを買ってみました。懐かしいスイングしたく
なるリズムカルな調べ、良いですね。若々しい弾
けたピアノの音色、リズムに乗りたくなる感じ。
昔ダンスに興じた日々！それにしてもこの録音は
二〇〇一年、もう結構な年齢のはずなのに、この若
々しいピアノは何なんだろう？と調べて見ますと、
二〇〇九年七十七歳で亡くなっておられる。
七十一歳でこれだけ若いリズム紡ぎ出していたのだ！

「コンニャク畑」

この写真
何かお分りに
なりますか？



群馬県に行ってきたので
すが、初めてコンニャクの
地上部分を見て、驚きま
した！腰位の高さで、
椰子の木を小振りにした
ような形なのです。
この土地の下にこんにゃく
芋ができるんですね！
関西の人間には珍しい
のでご紹介します。もう一つは、関東平野が
群馬県の上野まで東京から広がっており、日本
最大の平野だと言われ、へっ！こんな所まで
関東平野なのかと、ビックリしました。
群馬の高崎からレンタカーで二時間はか
り、所まで行って来ました。驚くこと多い
旅でしたよ。七十七歳になっても、驚き、
ビックリすることができることに感謝。





鮎も釣れるきれいな川です。
ゴミひとつありませんよ！

この辺りのお店、
食事処には、村で採れた
新鮮な野菜、果物だけでなく、
村の人、会社が作ったもの、
また自分の店で手作りで作っ
たものなどを、どこでも置いて



山間の斜面に広がる茶畑



山間の斜面に広がる
茶畑。このお茶が
美味しいんです！

東白川村の蝶々たち
こんな美しい
蝶々を見たのは
久しぶりです！

アテネの美術館で

このような素晴らしいものが
紀元前に作られていたとは
信じられない…。日本の
紀元前を年表で見ますと、
その違いに唖然と
してしまいますよ。
なぜこんなにも違うの
でしょうかね。これだ
けの文明を二千年以上
も前に謳歌していた
国がそれから二千年
の間にどれだけ進化
したのでしょか。この
ような廃墟の遺跡を見ながら、
考えさせられていました。
二千年も昔に出来ていたとは？
日本にはまだ歴史がない時代
ですからね。
そのアテネから船で一時間
ほどの所にあるエギナ島に
行きますと、遺跡のような
石というか岩がゴロゴロとあり、
この国はすべてが遺跡かと驚
きます。その島の海岸を歩いて
いますとタコが大目干しされ、
半生のものを炭火で焼いて
売っておりますし、前の海で
採れた魚も一匹丸ごと焼いて
ます。美味そうでした！
何か懐かしくもあり、私達
が忘れてしまった風景が
ここにはあります。今の
アテネの街なかには遺跡と
美術館以外見るに値する
ものがなかったのが寂しく、
財政危機で国が崩壊寸前
にある経済状況と合わ
せて、歴史の重みだけを
感じさせられました。





THE日本の風景IIといった
ところでしょうか？！

売っておられ、その努力
に感謝します。
遠方から来られた人達
にチョットでも喜んで
もらい、自分たちの村の
ものを買っていただ
き、村に少しでも
お金が落ちるようにな
したいという努力が感じ
られ、嬉しくなります。
二千〜二千五百人くら
いの人口の村々が点在
していますが、毎年人口
が減っていくので、何と
か、何とかその流れを食い止
めたいという想いが伝わっ
てくるのです。

遠い辺鄙な所ですが、鮎も釣
れますし、一度訪れていただ
きたい所です。

